



平成26年

No.196

No.1309029F

北九州市産業経済局

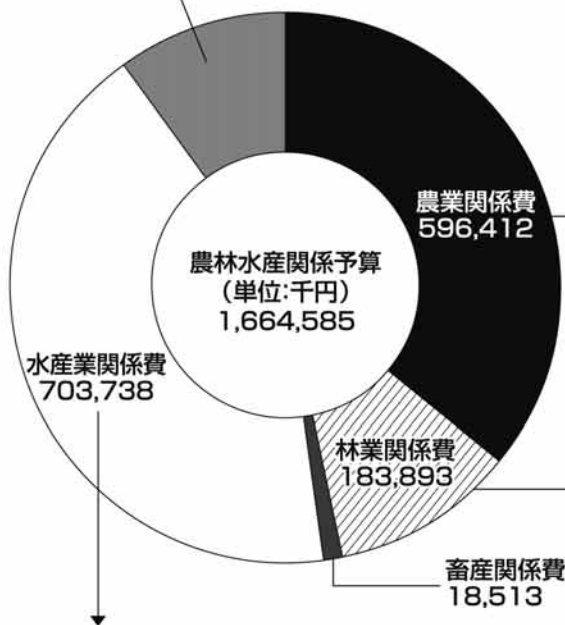
農林水産部農林課

電話 (093) 582-2078



平成26年度農林水産関係予算と主要事業

農業委員会費(人件費を含む)
162,029



◇主要事業

6次産業化推進事業

市内農林水産業の6次産業化を推進するため、生産者に対する新商品開発や販路開拓の支援を行うとともに、本市の「海の幸」「山の幸」の情報発信や地産地消の促進を図ります。

人づくり担い手対策事業

多様な農業従事者を担い手として確保するため、新規就農者に対する研修及び農家等で構成される営農組織、認定農業者、青年農業者、農村女性、農業法人等農業の担い手に対する支援を行います。

野生鳥獣被害対策事業

有害野生鳥獣の捕獲や侵入防止柵の設置にかかる経費の助成などを行います。

荒廃森林再生事業

福岡県森林環境税を活用して、手入れが遅れているスギ林、ヒノキ林の間伐や侵入竹の除去を実施します。

漁港の整備及び里海づくりの推進

市内の漁港の整備や施設の管理運営を行い、漁村地域の活性化を図ります。また、漁業経営の安定化を図るとともに安全・安心な水産物を市民に供給するため、藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行う「里海づくり」を推進します。

〈木曾馬「さっちゃん」お別れ会〉を行いました



総合農事センターのアイドルとして親しまれ、市民の皆さんに可愛がられていた日本最高齢の木曾馬、幸春号(愛称:さっちゃん)が1月28日(火)に天国に旅立ち、2月27日(木)にお別れ会を行いました。

お別れ会には、木曾馬のふるさと長野県木曾町から駆けつけていただいた方を始め、127名ものさっちゃんファンが集まり、在りし日のさっちゃんを偲びました。

会ではさっちゃんの経歴紹介の他、来賓や市関係者によるさっちゃんとの思い出話や保育園児から天国のさっちゃんへ向けたメッセージが発表され、参加者が思わず涙ぐんでしまう場面もありました。

木曾町との交流の架け橋となり、市民にたくさんの思い出を作ってくれたさっちゃんに、北九州市から感謝状が贈られた後、参加者一人一人が献花し、さっちゃんと最後のお別れをしました。

昭和56年に農事センターにやってきてから32年もの長い間、市民に素敵な思い出を作ってくれたさっちゃん、本当にありがとう。天国で安らかに眠ってください。



新たな取組み紹介

若松潮風キャベツ



若松区は、福岡県ナンバーワンのキャベツ産地です。玄海灘の潮風を受けて育った若松特産のキャベツをPRしていこうと生産者や農協を中心に検討を重ね、11月に北九州農協が「若松潮風」の商標登録を行いました。1月4日の初荷から「若松潮風キャベツ」としての出荷がはじまっています。

今後、商標登録によるブランドPRに加え、若松潮風キャベツとして新たな生産、販売にも取り組んでいきます。



◆ かき殻石灰肥料の施用

より美味しいキャベツ生産のために、自然の潮風だけでなく、海からの恵みとして「かき殻」を原料とした石灰肥料の散布を平成26年度から開始します。

かき殻は、福岡県内最大のかき生産を誇る門司区恒見産の「豊前海一粒かき」のかき殻を使います。

北九州農協、豊前海北部漁協恒見支所と肥料製造会社の連携により実現することになりました。漁業（海の幸）と農業（山の幸）の連携は北九州市初の取組となります。

◆ 6次産業化（農商工連携）の取組

ぎょうぞ製造業者と連携し、若松潮風キャベツを使ったぎょうぞの販売に取り組んでいます。

北九州農協の直売所等の店頭で販売されています。



地元いちばんキャラクターの「じもいちちゃん」もPR

6次産品で給食を通じた交流始まる

昨年11月に学校給食で使用された「塩蔵（えんぞう）ワカメ」を生産・加工した藍島活性化グループに、市立港が丘小学校5年生からメッセージボードが届きました。「漁師さんの心のこもったワカメは本当においしかった」「近くでこんなおいしいワカメがとれるなんてびっくり」などの声にグループメンバーも大感激！今年も子どもたちにおいしいワカメを食べてもらおうと張り切っています。

また、市内ではこのほか、若松区の岩屋、脇田や小倉北区の馬島などでも、ワカメやアカモク、ヒジキなどの加工が行われています。今後、給食をはじめ、市民の食卓にそれらの産品が並ぶことを期待しています。



子どもたちから贈られたメッセージボード

門司港地ビールと小倉牛のコラボ

北九州市新成長戦略の一環として「高騰が続く肉牛肥育の飼料代を削減すること」と、「農業の6次産業化」の両立を目標にした、食品残渣(ざんさ)の家畜飼料化技術「小倉牛エコフィード肥育実証試験」を行っています。

この試験では、価格の高騰が続く輸入フスマや輸入トウモロコシを国産の米ぬかなどに転換することを柱として、そこに「門司港地ビール」のビール粕を加えることで、低コストでおいしい小倉牛の生産技術を確認することを目標としています。

「門司港地ビール」は「門司港地ビール工房」(門司港レトロビール株式会社)が作る門司港レトロ地区を代表する人気商品。小倉牛が、この地ビール粕を食べて、地ビールと小倉牛のおいしいコラボが生まれることを期待しています。



地ビール粕を食べる小倉牛

海外技術協力事業で 総合農事センター職員を インドネシアに初めて派遣

独立行政法人国際協力機構（通称JICA（ジャイカ））と北九州市はこのたび農業分野における国際協力事業の取り組みを始めました。

この事業は政府開発援助（ODA）の一環で、インドネシア共和国西ヌサトゥンガラ州で現地農家の生計向上のため本市から技術職員の派遣を行い、技術協力を行うものです。

総合農事センターの職員は、市環境局の職員とともに、現地の地域振興作物でヒマシ油の原料になるヒマ（トウゴマ）の生産支援を行います。

主に農業技術の指導を行う指導員の育成や堆肥を使用した土壌改良の指導等を計画しています。

既に平成26年1月と2月の2度現地に職員を派遣しており、現地での試験圃場の設置や現地農家に対するワークショップの開催などを行いました。今後は、平成28年2月の事業終了までに数回の派遣を予定しています。

本市は既に水道分野や環境関連分野などで多くの職員を海外に派遣していますが、農業分野での技術者派遣は今回が初めてのケースです。



現地の農家の方々と総合農事センター職員



現地での指導の様子

ヒマシ油：トウゴマ（ヒマ）の種子からとった油で医薬品。成分が石油に似ているため、植物由来の石油代替品として見直され、近年、環境負荷の少ない化学合成原料として注目されています。

第6回「豊前海一粒かき」の かき焼き祭り



今年も大盛況でした！

1月25日（土）、26日（日）の2日間、冬の門司港レトロ恒例イベント「豊前海一粒かき」のかき焼き祭りが開催されました。

会場内には200台の焼き台を設置し、広場一帯がまるで広大なカキ小屋に早がわり！

今年は、2日間で約4.4tのカキが販売され、16,000人の来場者にかき焼きを楽しんでいただきました。

また、「豊前海一粒かき」をはじめ、地元産食材を使った料理や加工品なども販売され、市内の農林水産物を大いにPRすることができました。



漁協主催の朝市情報



漁協直営朝市	場 所	開催日	時間
○平松とれとれ朝市	小倉北区西港町船溜特設会場	4月20日（日曜日）	朝7時開催
○長浜朝市	小倉北区末広一丁目16-16	4月26日（土曜日）	朝9時開催
○旧門司支所活魚朝市	門司区旧門司二丁目4-11	4月20日（日曜日）	朝9時開催
○柄杓田日曜朝市	門司区柄杓田漁港内朝市会場	4月13日（日曜日）	朝7時開催

漁協朝市ファンの皆様、お待たせしました。4月から待ちに待った漁協朝市が再開します。

北九州近海で、漁獲されたばかりの新鮮な魚介類がお待ちしております。

この時期お勧めはコウイカ。コリコリの身を刺身でもよし、焼いてもよし、さばいておけば冷凍もできるので、この機会にぜひ味わってみてください。

勝負は開始後10分。早起きし、余裕を持ってお越しください。

農作業を行う皆様へ 農作業安全対策を励行し事故を防ぎましょう!

農作業中の死亡事故は、毎年全国で約400件発生しています。そのうちの多くが農業機械の使用に関連する事故です。農業機械を誤った方法で使用すると重大事故につながる可能性があります。

これからトラクター等の農業機械を使用することが多くなりますので、基本に忠実な農作業を心がけ、事故を防ぎましょう。

◆農作業事故防止のポイント

- ①機械は取扱説明書等をよく読んで機械の特性を知り、正しい技術を身につけましょう。
- ②機械の点検は安全作業の第一歩です。日常点検、定期点検は必ず行いましょう。
- ③機械の点検整備を行う時や作業中に機械トラブルが生じた時は、必ずエンジンを停止しましょう。
- ④過労や病気など体調不良の時や飲酒した時は作業をしないようにしましょう。
- ⑤服装は、だぶつきが無く、体にぴったり合って作業しやすいものを選び、必要に応じ防護メガネ、手袋、ヘルメット等の保護具を着用しましょう。
- ⑥複数の人員で作業する時は合図をしたり、声をかけ合って機械を動かしましょう。
- ⑦作業開始後2時間経過した頃から事故割合が高くなっています。疲労やあせりは事故につながります。余裕をもってこまめに休憩をとりましょう。
- ⑧トラクターは安全キャブフレームのあるタイプを使用し、シートベルトの着用を徹底しましょう。
- ⑨走行時は路面状態や障害物に注意しましょう。
- ⑩トラクターの作業が終わったら、ほ場から出る前に左右のブレーキを連結させましょう。
- ⑪ほ場から出る時は斜面に対し直角に進み、急な傾斜の場合はバックで上がりましょう。

◆保険の加入

事故を起こさないことが一番ですが、万が一起こしてしまった時のために、労災保険や傷害保険などに加入しておくことも必要です。

保険の加入をお考えの方は、労働基準監督署や農協等にご相談ください。

経営所得安定対策について

(1) 25年度の実施状況

米の直接支払交付金

加入農家数	交付面積	交付単価	交付金額
498戸	41,174a	15千円/10a	61,761千円

水田活用の直接支払交付金(見込み)

加入農家数	交付面積	交付単価	交付金額
301戸	14,851a	8~80千円/10a	30,879千円

(2) 26年度以降の主な変更点

- ①米の直接支払交付金(定額部分)の単価が、15,000円/10aから7,500円/10aになり、平成30年度から廃止。
 - ②米価変動補填交付金(変動部分)が26年度から廃止。
 - ③ナラシ対策(米・麦・大豆の価格下落への補填)の加入対象者は、27年度から規模要件なしの認定農業者等となる。
 - ④水田活用の直接支払交付金は、産地交付金が「水田フル活用ビジョン」策定により拡充される。
- ※26年度の加入希望者は、手続きをお願いします。

【総合農事センターからのお知らせ】 展示栽培実施中

品目	品 種	播種・定植時期	収穫時期	栽培の内容	品種特性等	
野菜	たまねぎ	センチュリー2号、アーリートップ こはく2号、アーリーレッド鈴平	播種：9月中旬 定植：10月下旬	4月～	展示栽培	センチュリー2号は超極早生で葉タマネギに最適。
	じゃがいも (ばれいしょ)	キタアカリ、シンシア、ニシユタカ	定植：3月上旬	6月	展示栽培	キタアカリはジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種。
花き	美女なでしこ	新緋車、初恋	播種：7月下旬 定植：9月下旬	2月～	展示栽培	シヨップで人気。開花期が長く、次々出荷できる。
	ヘリクリサム	モンスターサ	播種：11月上旬 定植：1月中旬	4月～	展示栽培	カサカサとした独特の花びらが魅力です。
	フリージア	—	定植：9月下旬	3月～	展示栽培	香りが良い。
	キンギョソウ	アスリートシリーズ (ホワイト、イエロー、ピンク、レッド)	播種：9月下旬 定植：10月下旬	3月～	展示栽培	切花用。